3D0039400D

TEAC

取扱説明書

AD-600

CDプレーヤー/カセットデッキ

安全にお使いいただくために ... 2
コンパクトディスクについて ... 4
カセットテープについて ... 5
接続 ... 6
リモコンの使用方法 ... 7
各部の名称 ... 8

CD

CDの再生 ... 11
ディスプレーの表示 ... 14
イントロチェック ... 14
一曲だけ再生するには ... 15
CDのタイマー再生 ... 15
リピート再生 ... 16
A-Bリピート再生 ... 17
プログラム再生 ... 18
シャッフル再生 ... 20

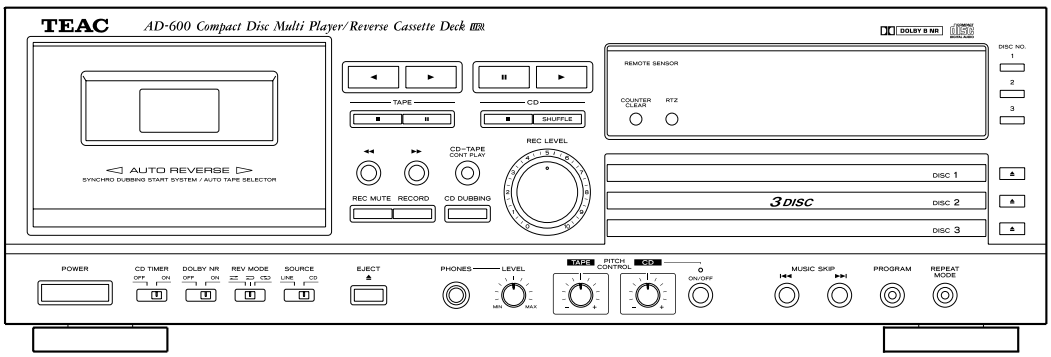
テープ

テープの再生 ... 21
録音 ... 23

CD&テープ

CDシンクロ録音 ... 26
CDとテープの連続再生 ... 28

おや？故障かな？ ... 29
お手入れ ... 30
仕様 ... 30
保証とアフターサービス ... 31



お買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠警告	
	万一、煙が出たり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

⚠警告	
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意	
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンパクトディスクについて

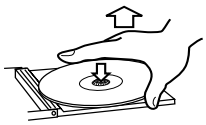
使用上の注意

本機では、以下のディスクが再生できます。

・ マークのあるCD(12cm/8cm)
・ 正しい方法でファイナライズされたCD-RおよびCD-RW
注意：ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。

● ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトデイスクの録音/再生は片面だけです。)

● ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



● 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。

● ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。

● 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

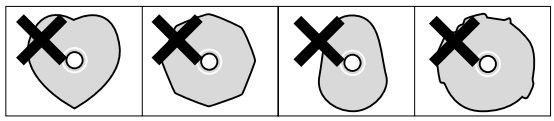
● レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



● CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

カセットテープについて

■おすすめできないカセットテープ

つぎのようなカセットテープを使用すると、正常な動作や性能が得られないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

形状精度の悪いカセットテープ

カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

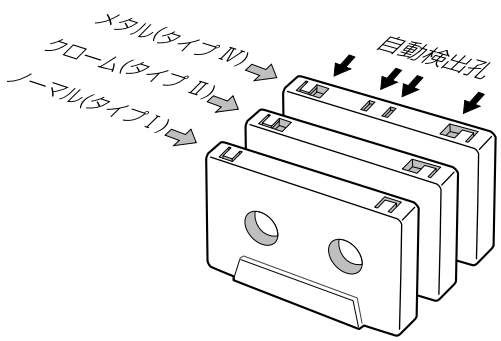
90分以上のテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。なるべくご使用にならないでください。

注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での使用・保管は避けてください。
- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。

■自動検出孔について

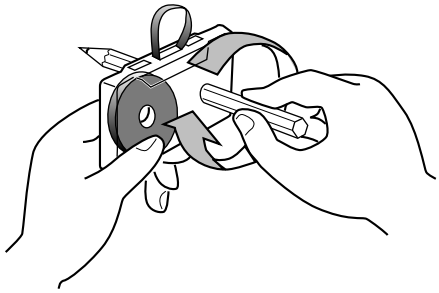
カセットにはテープ自動検出孔が付いています。オートテープセレクター機では、テープの種類が自動検出されます。



本機ではノーマルテープ(タイプ¿)、クロームテープ(タイプ　)、メタルテープ(タイプ´)を再生できます。
録音にはノーマルテープ(タイプ¿)またはクロームテープ(タイプ　)を使用してください。

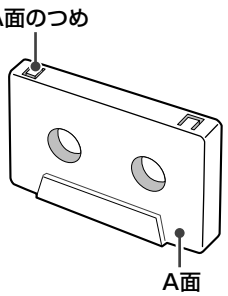
■テープの「たるみ」

テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。



■誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットのA面、B面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が働いて録音ができなくなります。



再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
注：テープ自動検出孔はふさがないでください。

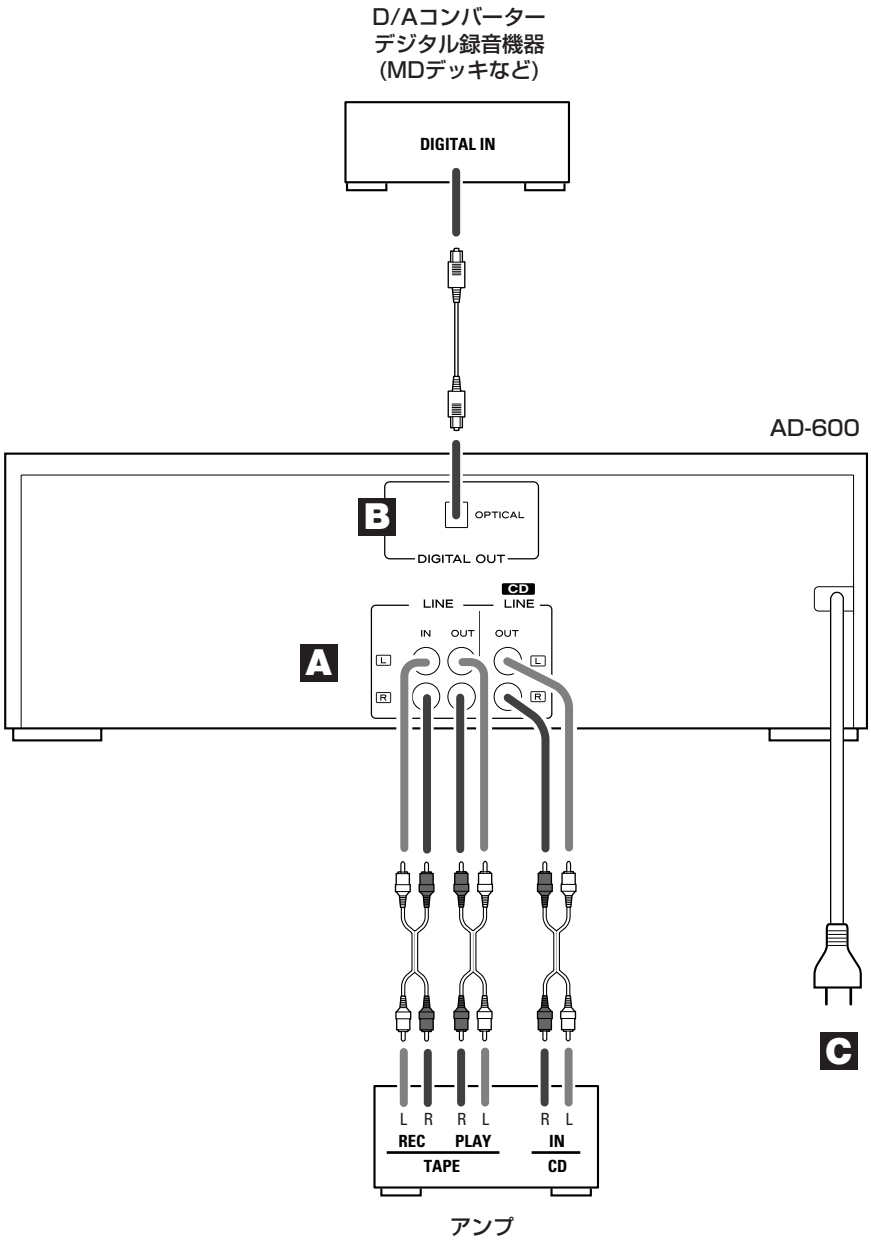
ドルビーNRシステムについて

録音時に発生する“シー”というテープノイズを低減するのがドルビーNRシステムです。本機はBタイプを内蔵しています。

- ドルビーNRシステムは録音→再生の両方で効果を発揮しますので、再生するときは録音したときと同じタイプを選んでください。
- ドルビーNR録音したカセットは、ドルビーのタイプを表示しておきましょう。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

接　続



注意

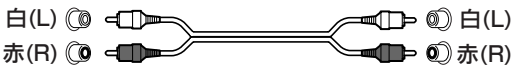
- 本機を移動するときは、ディスクを全部取り出し、電源をオフにしてください。
- 以下の状態のとき（ディスクマークまたは"––：––"の点滅中）は、電源をオフにしないでください。
  故障の原因になります。
  - 電源を入れた直後の初期動作中
  - ディスクトレーの開閉中
  - ディスクの読み込み中

⚠ 接続時の注意

全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A 音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

アナログで録音/再生するときに使用します。
アンプの音声入出力端子と接続してください。
音声入出力端子はLが左チャンネル、Rが右チャンネルです。白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

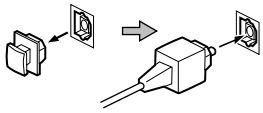


- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B 光デジタル出力端子[DIGITAL OUT]

光ケーブルを使って、デジタル録音機器(MDデッキ、CDレコーダーなど)やD/Aコンバーターのデジタル入力端子と接続してください。

- 光ケーブルを接続する際は、接続端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



C 電源コード

家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

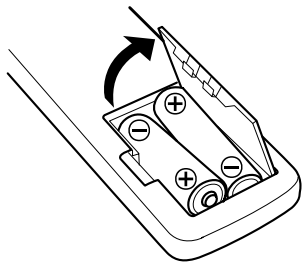
リモコンの使用方法

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

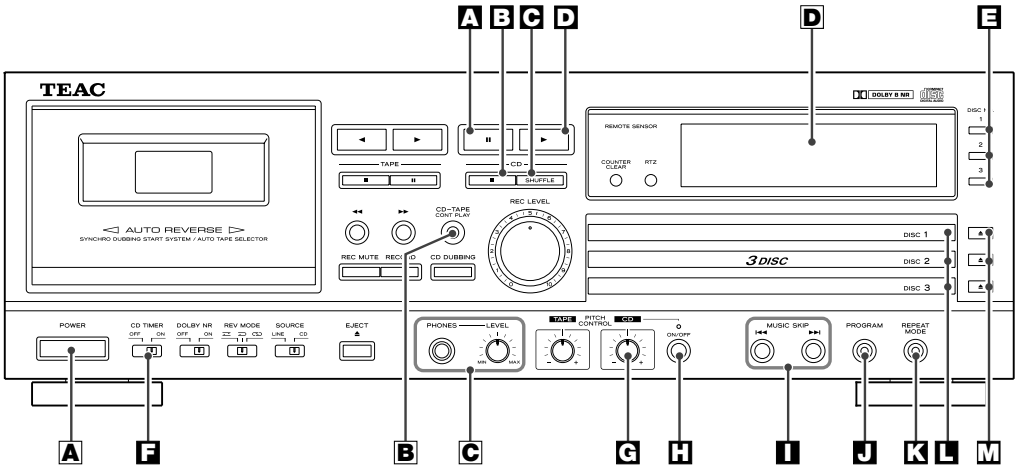
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

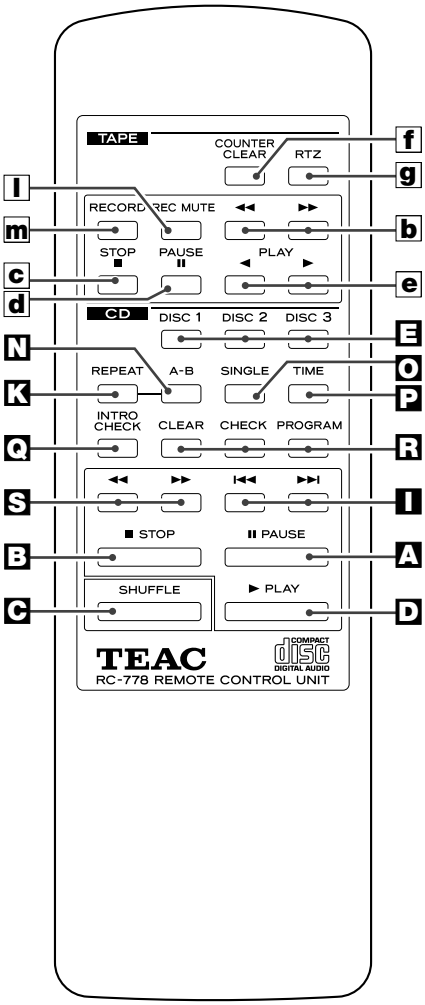
電池についての注意

⚠ **乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。**

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

各部の名称 1





A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフに使用します。

- 本機を移動するときは、ディスクを全部取り出し、電源をオフにしてください。
- 以下の状態のとき（ディスクマークまたは"–– : ––"の点滅中）は、電源をオフにしないでください。故障の原因になります。

  電源を入れた直後の初期動作中
  ディスクトレーの開閉中
  ディスクの読み込み中

B CD-テープ連続再生ボタン [CD-TAPE CONT PLAY]

CDとテープを続けて再生するときに使用します。
(28ページ)

C ヘッドホンジャック/レベル調節

ヘッドホンを使用するときは、ここにヘッドホンプラグを差し込み、LEVELをまわして適切な音量に調節してください。

D ディスプレー

ディスクの総曲数や再生時間、テープカウンターなどが表示されます。

CD操作ボタン

A 一時停止ボタン [PAUSE]

再生を一時停止します。(12ページ)

B 停止ボタン [STOP]

再生またはCDシンクロ録音を停止します。
(12ページ)

C シャッフルボタン [SHUFFLE]

1枚のディスクの全曲をシャッフル再生します。
(20ページ)

D 再生ボタン [PLAY]

選択されているディスクを再生します。
ディスクが選択されていないときは、再生ボタンを押しても反応しません。(12ページ)

E ディスクナンバー1,2,3ボタン[DISC NO.]

ディスクの選択に使用します。(11ページ)

F CDタイマースイッチ [CD TIMER]

別売りのオーディオタイマーを接続すると、CDをタイマー再生することができます。通常はオフにしておいてください。(15ページ)

G CDピッチコントロールつまみ [CD PITCH CONTROL]

H CDピッチコントロール オン/オフボタン [CD PITCH CONTROL ON/OFF]

停止中にオン/オフボタンを押すと、CDピッチコントロールのオン/オフが切り換わります。オンのときにCDピッチコントロールつまみをまわすと、再生の速度を変えることができます。(13ページ)

I ミュージックスキップボタン [MUSIC SKIP ⏮/⏭]

前または後ろの曲にスキップします。
再生中にミュージックスキップボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。(13ページ)

J プログラムボタン [PROGRAM]

プログラムモードのオン/オフを切り換えます。
(18ページ)

K リピートモードボタン [REPEAT MODE]

リピート再生のモードを切り換えます。(16ページ)

L ディスクトレー

M 開閉ボタン(1, 2, 3)

各ディスクトレーを開閉します。(12ページ)

リモコンのCD操作ボタン

N リピートA-Bボタン [REPEAT A-B]

ABリピート再生に使用します。(17ページ)

O シングルボタン [SINGLE]

シングル再生モードにすると、1曲だけ再生して停止します。(15ページ)

P タイムボタン [TIME]

CDの再生中に押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(14ページ)

Q イントロチェックボタン [INTRO CHECK]

イントロチェックに使用します。(14ページ)

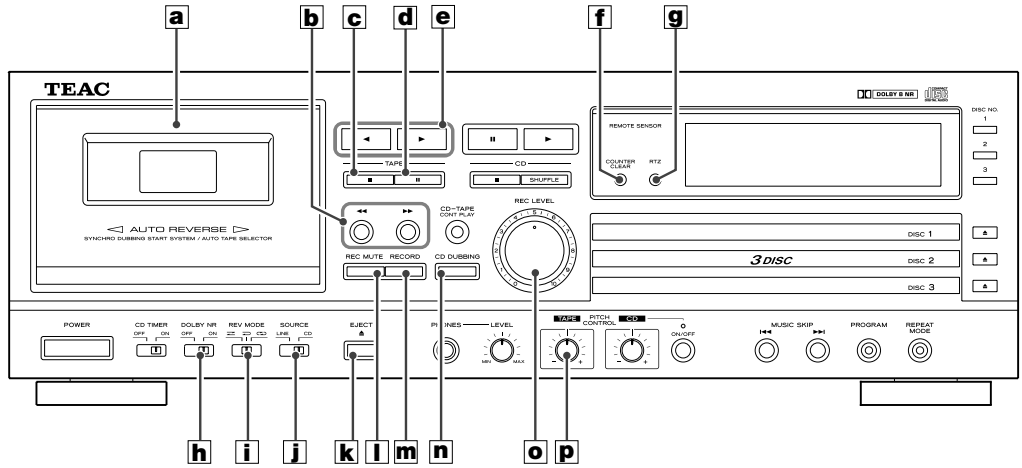
R プログラム、チェック、クリアボタン [PROGRAM, CHECK, CLEAR]

プログラム再生に使用します。(18ページ)

S サーチボタン [◄◄/►►]

再生中にサーチボタンを押したままでいると、早送り/早戻しができます。(13ページ)

各部の名称 2



カセットデッキ操作ボタン

a カセットホルダー

b サーチボタン [◄◄/►►]

テープの早送り/巻戻しに使用します。(22ページ)

c 停止ボタン [STOP]

テープの再生/録音を停止します。(22ページ)

d 一時停止ボタン [PAUSE]

再生/録音を一時停止します。(22ページ)

e 再生ボタン(フォワード►/リバース◄)

テープを再生します。(21ページ)

f カウンタークリアボタン [COUNTER CLEAR]

ディスプレーのテープカウンターを0000にリセットします。(22ページ)

g RTZボタン [RTZ]

このボタンを押すと、テープの0000をサーチして停止します。(22ページ)

h ドルビーNRスイッチ [DOLBY NR]

ドルビーB NRを使って録音/再生するときはオンに、それ以外の場合はオフにしてください。
(5, 21, 23ページ)

i リバースモードスイッチ [REV MODE]

リバースモードを切り換えます。(21ページ)

j 録音ソース切換 [SOURCE]

録音するソースを切り換えます。本機のCDから録音するときはCDを、外部機器から録音するときはLINEを選んでください。(23ページ)

k イジェクトボタン [EJECT]

カセットホルダーを開きます。(21ページ)

l 録音ミュートボタン [REC MUTE]

録音中に4秒間の無音部分を作るときに使用します。(25ページ)

m 録音ボタン [RECORD]

このボタンを押すと録音待機状態になります。(24ページ)

n CDダビングボタン [CD DUBBING]

CDシンクロ録音に使用します。(26ページ)

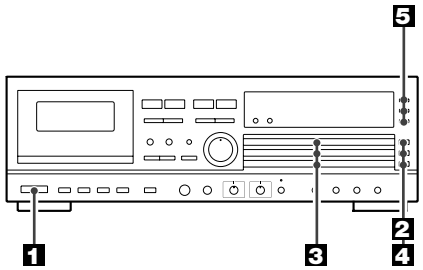
o 録音レベル調節つまみ [REC LEVEL]

録音レベルの調節に使用します。(24ページ)

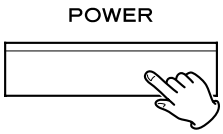
p ピッチコントロールつまみ [TAPE PITCH CONTROL]

再生の速度を変えることができます。(22ページ)

CDの再生 1



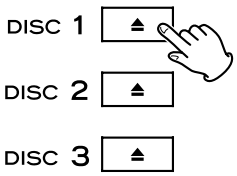
1 電源を入れる。



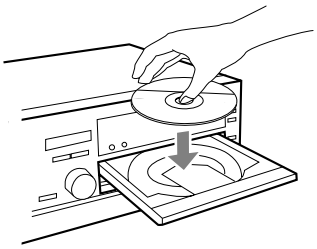
DISC1にディスクがセットされていない場合は、初期動作のあとに "no disc"が表示されます。

2 DISC1、2または3の開閉ボタン(⏏)を押す。

ディスクトレーが手前に出ます。



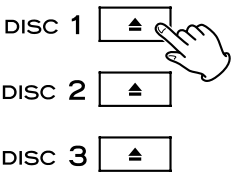
3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。



ディスクは、レーベル面を上にして中央のガイドにのせてください。

⚠ トレーが閉まる時は手をはさまないようにご注意ください。

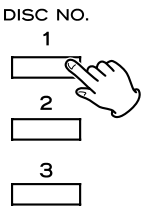
4 開いているトレーの開閉ボタン(⏏)を押す。



ディスクトレーが閉まります。

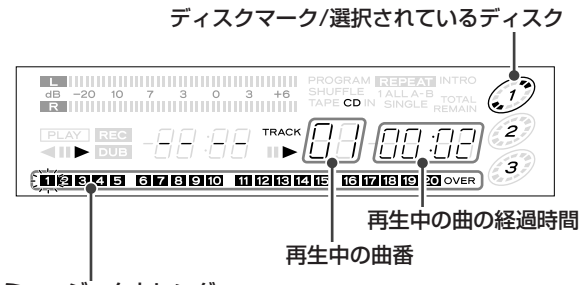
● ディスクトレーを開閉すると、ディスクの有無に関わらず赤いディスクマークが点灯します。

5 再生したいディスクのDISC NO.ボタンを押す。



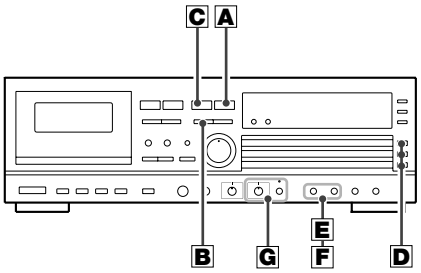
選択したディスクがプレーヤーに読み込まれ、1曲目から再生が始まります。そのディスクの再生が終わると停止します。

● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。



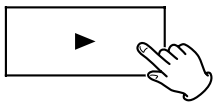
ミュージックカレンダーには20曲まで表示され、20曲を越えるとOVERが点灯します。

CDの再生 2



ディスクトレーにディスクがセットされていても、DISC NO.ボタンを押してディスクを選択するまでは"no disc"が表示されます。

A 再生するには

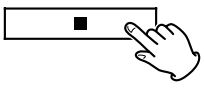


既に選択されているディスクを再生するときは、再生ボタン(►)を押してください。(DISC NO.ボタンで再生することはできません。)
再生ボタンで再生を始めた場合は、DISC3にセットされたディスクの終りまで再生すると、停止します。

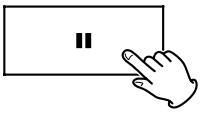
● ディスクをのせたあと、開閉ボタンを押さずにそのトレーに対応したDISC NO.ボタンを押すと、自動的にトレーが閉じて再生を始めます。

B 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

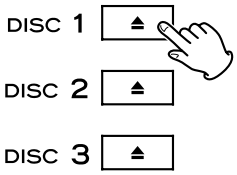


C 再生を一時停止するには



一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押すと再び再生が始まります。

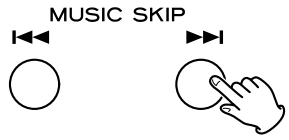
D ディスクを交換するには



再生中のディスクの開閉ボタン(⏏)を押すと、再生が停止してディスクトレーが開きます。ディスクを交換したら、もう一度開閉ボタンを押してトレーを閉じてください。

● 再生中でも、他のトレーのディスクを交換することができます。再生していないトレーの開閉ボタンを押してトレーを開き、ディスクを交換したらもう一度開閉ボタンを押してトレーを閉じてください。

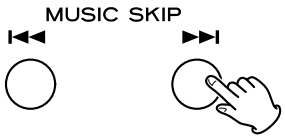
E 好きな曲から再生するには(スキップ)



停止中または再生中にMUSIC SKIPボタン(I◄◄/►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

- 一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。再生ボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、I◄◄を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

F 聴きたい部分を探すには(サーチ)

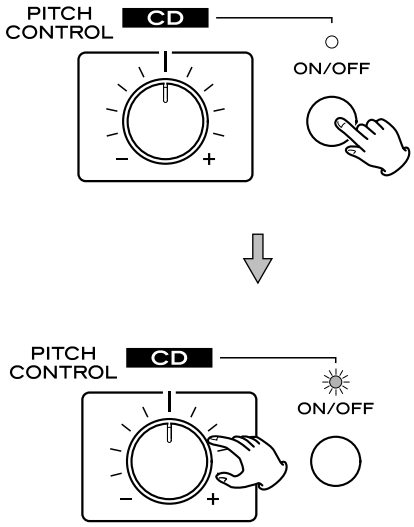


再生中にMUSIC SKIPボタン(I◄◄/►►I)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

- ディスクの最後の曲の終わりまで早送りすると、その曲の頭に戻ります。
- リモコンの場合は、サーチボタン(◄◄/►►)を押してください。

G ピッチコントロール

CD再生時にピッチ（音程）を変えることができます。



停止中にPITCH CONTROLボタンを押してインジケーターを点灯させてから、つまみを左右に回して調節してください。
右一杯に回すとスピードが約12%速くなり、左一杯に回すと、約12%遅くなります。

- PITCH CONTROLボタンは停止中にしかオン/オフできませんが、ピッチコントロールつまみは再生中でも操作できます。
- 録音するときは通常はオフにしてください。

注意

- 本機を移動するときは、ディスクを全部取り出し、電源をオフにしてください。
- 以下の状態のとき（ディスクマークまたは"--：--"の点滅中）は、電源をオフにしないでください。故障の原因になります。

  電源を入れた直後の初期動作中
  ディスクトレーの開閉中
  ディスクの読み込み中

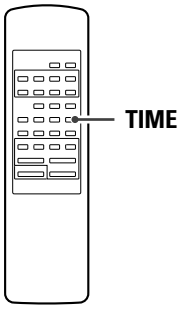
ディスプレーの表示

停止中

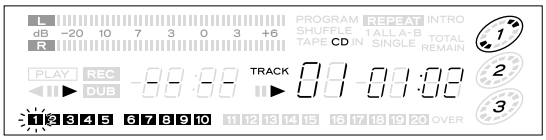
選択されたディスクの総曲数と総再生時間

再生中

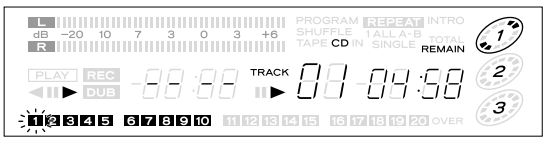
リモコンのTIMEボタンを押すと表示が変わります。



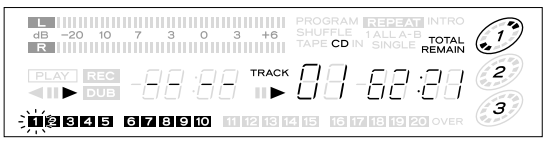
再生中の曲番と再生中の曲の経過時間



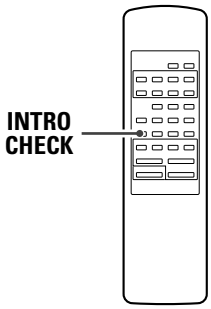
再生中の曲番と再生中の曲の残り再生時間



再生中の曲番と再生中のディスクの残り再生時間



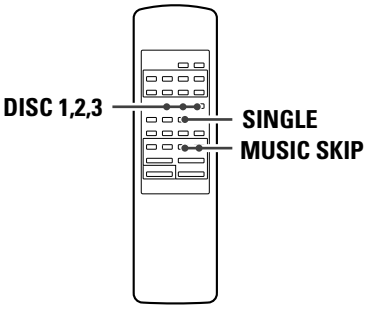
イントロチェック



停止中にリモコンのINTRO CHECKボタンを押すと、各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。聴きたい曲の再生中にINTORO CHECKボタンを押せば、そこから通常の再生に戻ります。

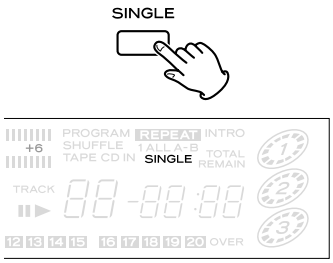
- "no disc"が点灯している場合は、ディスクがセットされている任意のトレーのDISC NO.ボタンを押してディスクを選択してから、停止ボタンを押して再生を停止しておいてください。
- 再生中にINTRO CHECKボタンを押した場合は、次の曲からイントロチェックが始まります。
- 再生を始めてから10秒以内にINTRO CHECKボタンを押した場合は、その曲からイントロチェックが始まります。
- プログラムされた状態でINTRO CHECKボタンを押すと、プログラムされている曲が順番に10秒ずつ再生されます。
- イントロチェック中に ►►I ボタンを押すと、次の曲にスキップします。チェックが終わった曲には戻れません。
- イントロチェック中は I◄◄ ボタンとサーチボタンは機能しません。
- DISC3のイントロチェックが終わると停止します。イントロチェックも解除されます。

一曲だけ再生するには



一曲再生後に停止しますので、どれか1曲だけ再生したいときに便利です。

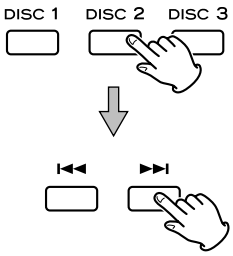
1 停止中にリモコンのSINGLEボタンを押す。



"SINGLE"が点灯します。

● 解除するにはもう一度SINGLEボタンを押してください。

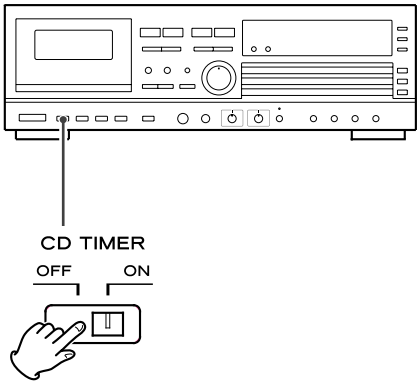
2 曲番を選ぶ。



DISC NO.ボタンでトレーを選んでから、MUSIC SKIPボタンを押して曲番を選んでください。
その曲の再生が終わると自動的に停止し、シングル再生モードは解除されます。

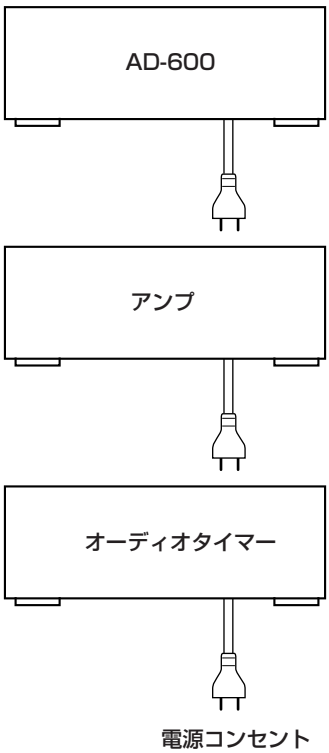
● 再生中にSINGLEボタンを押した場合は、その曲の再生が終わると停止します。
● シングル再生中にMUSIC SKIPボタンでスキップすると、他の曲を選択できます。
● シングル再生中に曲の最後まで早送りすると、その曲の頭に戻ります。

CDのタイマー再生

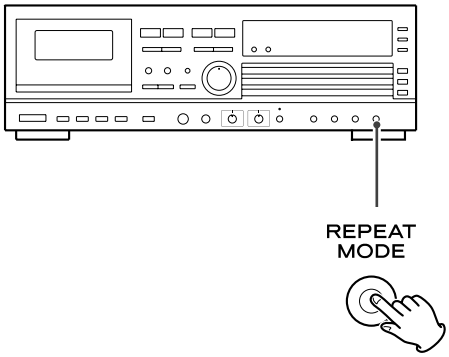


CDタイマースイッチをオンにすると、本機の電源を入れたときに自動的にCDの再生が始まります。全てのディスクの再生が終わると停止します。

● 外部のタイマーと本機を連動させることによって、CDを目覚ましとして使うことができます。



リピート再生

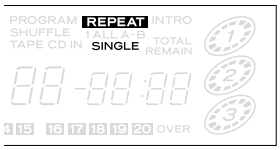


REPEAT MODEボタン(またはリモコンのREPEATボタン)を押すたびに、リピートモードが変わります。

REPEAT SINGLE → REPEAT 1
消灯(オフ) ← REPEAT ALL

● プログラムモードでは、プログラムした曲が繰り返し再生されます。(19ページ)

■一曲リピート[REPEAT SINGLE]

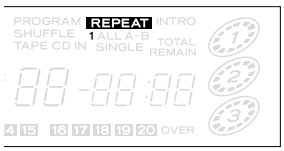


再生中にREPEAT MODEボタンを押して"REPEAT SINGLE"を選ぶと、再生中の曲が繰り返し再生されます。一曲リピート再生中にMUSIC SKIPボタンで他の曲を選ぶと、その曲の繰り返し再生に変わります。

● 停止中に一曲リピートに設定してからMUSIC SKIPボタンで曲番を選んで再生すると、その曲が繰り返し再生されます。

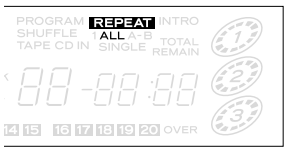
■1ディスクリピート[REPEAT 1]

選択した1枚のディスクの全ての曲を繰り返し再生します。



■全曲リピート[REPEAT ALL]

3枚のディスクの全ての曲を繰り返し再生します。

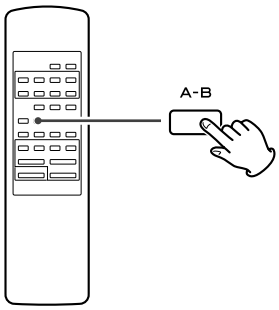


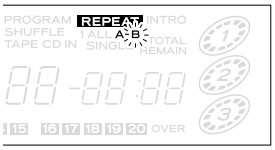
ディスク1の全曲 → ディスク2の全曲
ディスク3の全曲 ←

A-Bリピート再生

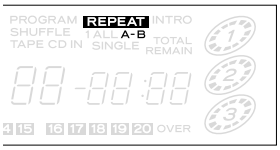
ある特定の部分を繰り返し再生することができます。

CDを再生し、繰り返しを始めたい部分(A点)になったらリモコンのREPEAT A-Bボタンを押します。
"REPEAT A-"が点灯します。





終了したい部分(B点)でもう一度REPEAT A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)が繰り返し再生されます。



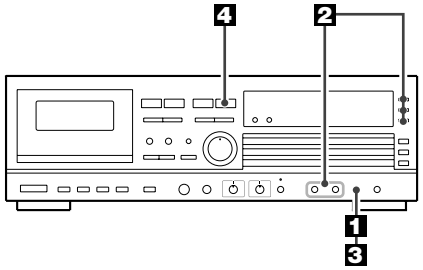
- A点とB点の間は1秒以上開けてください。
- B点を指定したあとにもう一度A-Bボタンを押すと、A-Bリピートは解除されて通常の再生になります。
- 以下のボタンを押すと、A-Bリピートは解除されます。

  電源スイッチ
  A-Bボタン
  停止ボタン
  選択されているディスクの開閉ボタン

- A点を指定したあと、B点までMUSIC SKIPボタンでスキップまたは早送りすることができます。
- 複数のディスクにまたがって設定することはできません。
- A-Bリピートは以下の機能と同時には使えません。

  1曲リピート
  1ディスクリピート
  全曲リピート
  プログラム再生
  シャッフル再生
  イントロチェック
  CDとテープの連続再生

プログラム再生

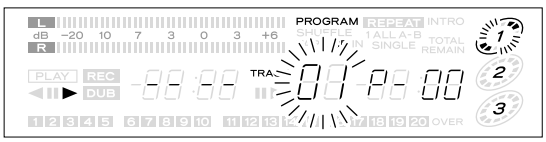


3枚のディスクから聴きたい曲を聴きたい順に、20曲までプログラムして再生することができます。

- 再生中はプログラムできません。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。
- "no disc"が点灯している場合は、ディスクがセットされている任意のトレーのDISC NO.ボタンを押して、ディスクを選択してから、停止ボタンを押して再生を停止しておいてください。

1 停止中にPROGRAMボタンを押す。

PROGRAM

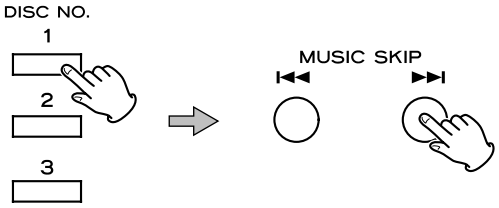


PROGRAMと"P-00"が点灯し、ディスクナンバーと曲番"01"が点滅します。

- プログラム中(ディスクナンバーと曲番が点灯している間)は、ディスクトレーを開閉することはできません。

2 曲番を選ぶ。

DISC NO.ボタンでトレーを選んでから、MUSIC SKIPボタンを押して曲番を選んでください。

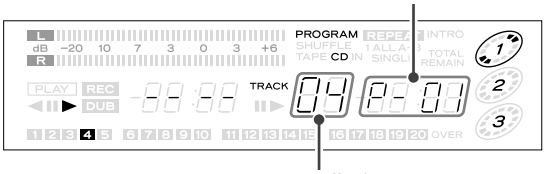


3 PROGRAMボタンを押す。

一曲目がプログラムされて、"P-01"が点灯します。

PROGRAM

プログラム番号(1～20)

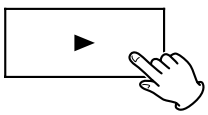


選んだ曲番

- 複数の曲目をプログラムするときは、**2**と**3**の操作を繰り返してください。
  同じディスクから続けてプログラムする場合は、DISC NO.ボタンを押す必要はありません。

- 20曲までプログラムできます。
- 間違えてプログラムした場合はリモコンのCLEARボタンを押してください。
- **プログラムを中断したい場合は、停止ボタンを押してからCLEARボタンを押してください。**

4 再生ボタン(►)を押す。



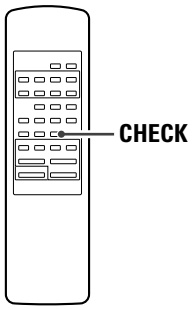
プログラム再生が始まります。
プログラムされた全ての曲の再生が終わると、**3**の状態に戻ります。

A プログラムに曲を追加するには

停止中に2と3の操作を繰り返すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

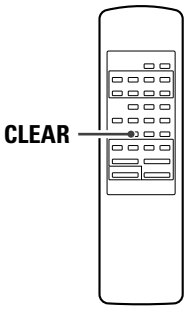
● PROGRAMが消灯していた場合は、PROGRAMボタンを1回押してプログラムモードにしておいてください。

B プログラムした内容を確認するには

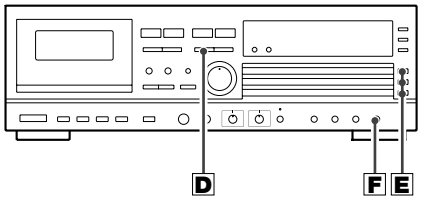


停止中にCHECKボタンを繰り返し押すと、曲番とプログラム番号が順番に表示されます。
チェック中は"P-"とディスクナンバーが点滅します。
表示が終わると、プログラムモードに戻ります。

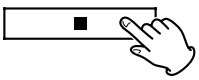
C 最後にプログラムした曲を削除するには



停止中にリモコンのCLEARボタンを押すと、最後にプログラムした曲だけが削除されます。

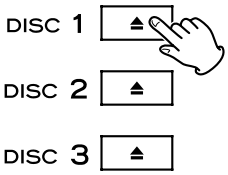


D プログラムモードの解除



停止中に停止ボタン(■)を押すと、プログラムモードを解除しますが、プログラムした内容はそのまま残ります。PROGRAMボタンを押すと、プログラムモードに戻ります。

E 全てのプログラム内容の消去

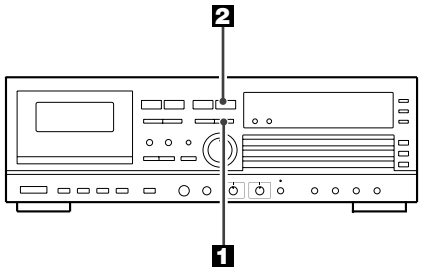


開閉ボタン(⏏)またはPOWERスイッチを押すと、全てのプログラム内容が消去されます。

F プログラムした曲をリピート再生するには

プログラムしたあと、REPEAT MODEボタンを1回押すと、プログラムした曲が繰り返し再生されます。

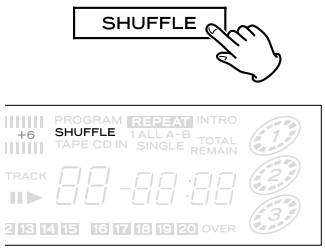
シャッフル再生



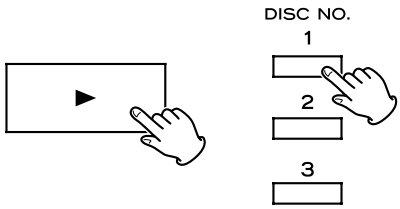
選択されたディスクの全曲がランダムに再生されます。

1 停止中にSHUFFLEボタンを押す。

"SHUFFLE"が点灯します。



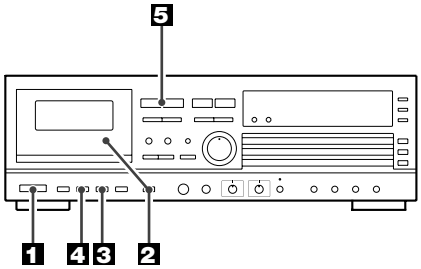
2 再生ボタン(►)またはDISC NO.ボタンを押す。



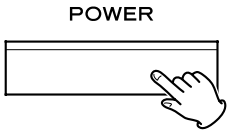
既にディスクが選択されている場合は再生ボタンを、"no disc"が表示されている場合や他のディスクを選択したい場合はDISC NO.ボタンを押して再生を始めてください。

- シャッフル再生を中断したいときは、停止ボタン(■)または再生中のディスクの開閉ボタン(⏏)を押してください。
- 停止中にSHUFFLEボタンまたは停止ボタン(■)を押すと、シャッフル再生は解除されます。
- 電源を切るとシャッフル再生は解除されます。
- シャッフル再生が終わった曲は、ミュージックカレンダーから消えていきます。
- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。 I◄◄ ボタンを押したままでいると、現在の曲の頭まで早戻しします。既にシャッフル再生が終った曲には戻れません。

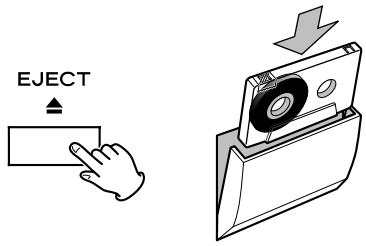
テープの再生



1 電源を入れる。



2 カセットを入れる。



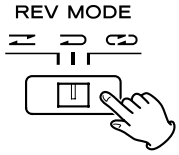
EJECTボタン(▲)を押すとカセットホルダーが開きます。テープが露出している部分を下に、再生したい面(A面)を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

テープカウンター(0000)とテープ走行方向インジケーター(◄または►)が点灯します。

● 本機ではノーマルテープ(タイプ¿)、クロームテープ(タイプ　)、メタルテープ(タイプ´)を再生できます。

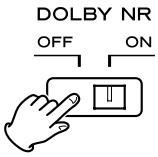
3 リバースモードを選ぶ。

REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。



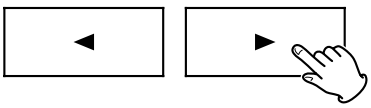
⇄ ：A面またはB面の片面再生
⇉ ：A面とB面の両面再生
⇆ ：A面とB面の両面繰り返し再生

4 ドルビーNRのオン/オフを選ぶ。



ドルビーB NRで録音されたテープを再生するときは、DOLBY NRスイッチをオンにしてください。
ドルビーB NRを使わずに録音されたテープを再生するときは、オフにしてください。(5ページ)

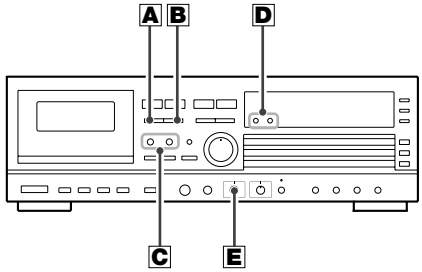
5 再生ボタン(◄または►)を押す。



►：フォワード再生(A面再生)
◄：リバース再生(B面再生)

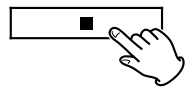
"PLAY"が点灯し、再生が始まります。

テープの再生 2



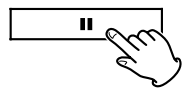
A 再生をやめるには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。



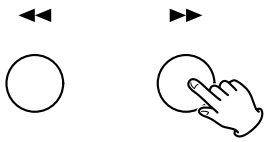
B 再生を一時停止するには

一時停止ボタン(❚❚)を押すと再生が一時停止します。
一時停止ボタン(❚❚)または再生ボタン(►)を押すと再び再生が始まります。



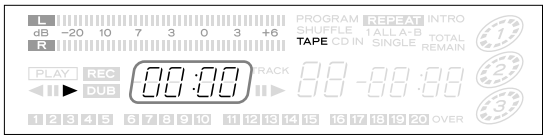
C 早送り/巻戻し

停止中に ◄◄ または ►► ボタンを押してください。
中断したいときは停止ボタン(■)を押してください。



D テープカウンター

COUNTER RESETボタンを押すと、テープカウンターが"0000"にリセットされます。

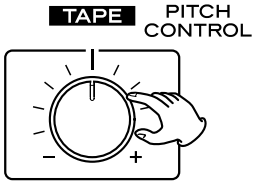


RTZボタン(Return To Zero)を押すと、テープの"0000"をサーチして停止します。

- 録音や再生を始める前にカウンターリセットボタンを押して"0000"にリセットしておくと、あとからRTZボタンでその位置に戻ることができます。
- "9996"～"0004"の間はRTZ動作ができません。

E ピッチコントロール

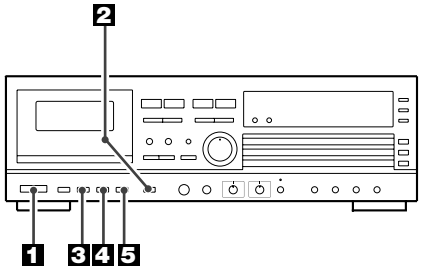
カセットの再生時にピッチ（音程）を変えることができます。(録音時は働きません)



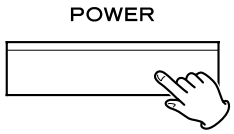
ピッチコントロールつまみを右に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。左に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。

右一杯に回すと、スピードが約12%速くなります。
（音程で約1音上がります）
左一杯に回すと、スピードが約12%遅くなります。
（音程で約1音下がります）

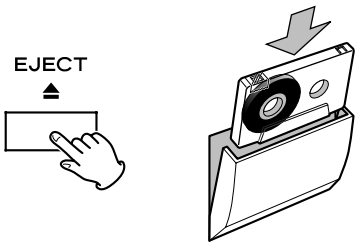
録音 1



1 電源を入れる。



2 録音用のカセットを入れる。

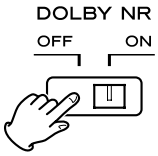


EJECTボタン(⏏)を押すとカセットホルダーが開きます。テープが露出している部分を下に、A面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

- カセットの録音防止用つめが折れている場合は、セロハンテープなどで孔を塞いでください。

- 録音にはノーマルテープ(タイプ¿)またはクロームテープ(タイプ　)を使用してください。

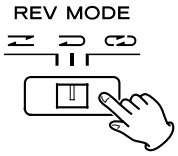
3 ドルビーNRのオン/オフを選ぶ。



ドルビーB NRで録音したいときは、DOLBY NRスイッチをONにします。

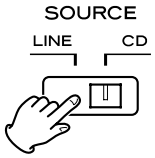
4 リバースモードを選ぶ。

REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。



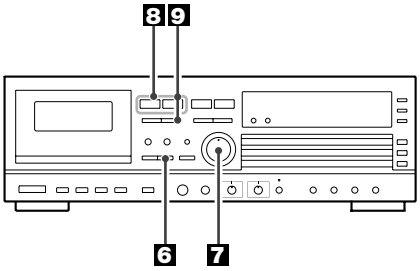
⇄ ：A面またはB面の片面録音
⇉/⇆ ：A面とB面の両面録音

5 SOURCEスイッチで録音するソースを選ぶ。

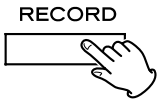


本機のCDから録音する場合はCDに、外部機器からの入力信号を録音する場合はLINEにしてください。

録音 2

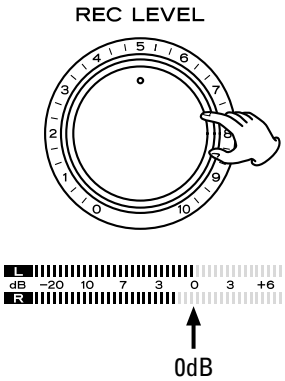


6 RECORDボタンを押す。



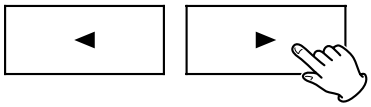
録音待機状態になり、 REC と❚❚が点灯します。

7 録音レベルを調節する。



録音するソースの音を出し、音が最も大きいときのメーターの表示が0dBになるようにREC LEVELつまみで調節してください。

8 テープの走行方向を選ぶ。

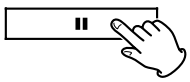


ディスプレーのテープ走行方向インジケーターが録音したい方向と逆になっている場合は、録音したい方向の再生ボタン(◄または►)を押してテープ走行方向を変えてください。

- 現在のテープ走行方向と同じ方向の再生ボタンを押すと、録音が始まります。

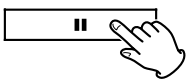
9 録音を始める。

一時停止ボタン(❚❚)またはテープ走行方向の再生ボタンを押すと録音が始まります。



- 両面に録音するときは、リバースモードを⇄または↻にして、フォワード再生ボタン(►)を押してください。リバース再生ボタン(◄)を押して録音した場合は、B面だけ録音して停止します。
- 録音を終了するときは停止ボタン(■)を押してください。

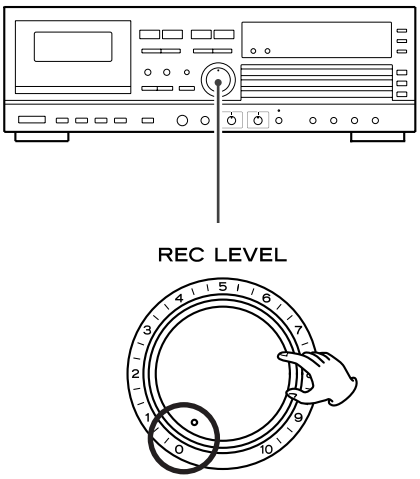
A 録音を一時停止するには



録音中に一時停止ボタン(❚❚)を押すと録音が一時停止します。もう一度押すと録音を再開します。

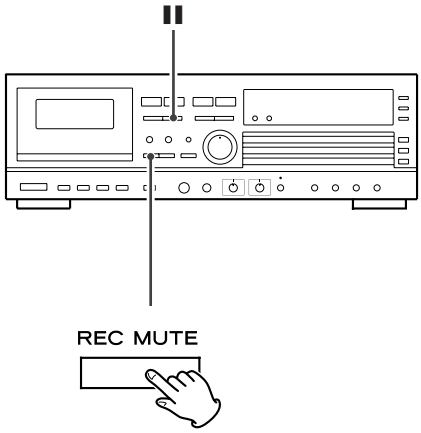
録音を消去するには

録音すると、以前テープに録音されていた内容は消去されます。
上書きせずに録音内容を消去したい場合は、REC LEVELを0にして録音してください。



無録音状態にするには

録音中にREC MUTEボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、録音一時停止状態になります。
一時停止ボタン(❚❚)を押すと録音を再開します。



4秒以上のスペースをつくるには

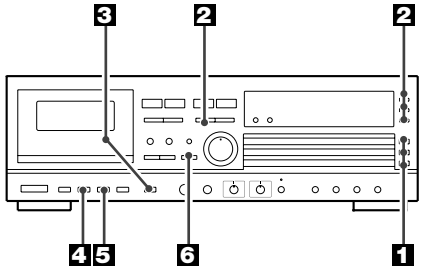
REC MUTEボタンを4秒以上押し続けます。4秒以上押し続けて指を離すと、録音一時停止状態となります。

4秒以下のスペースをつくるには

REC MUTEボタンを押してから3秒以内に一時停止ボタン(❚❚)を押すと、そこで録音一時停止状態になります。

- 録音一時停止中にREC MUTEボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、一時停止します。

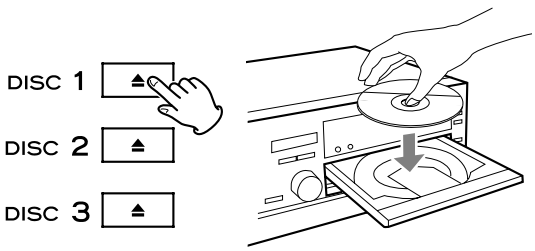
CDシンクロ録音



本機のCDとカセット間のシンクロ録音がワンタッチで行なえます。

A面の頭から録音するには

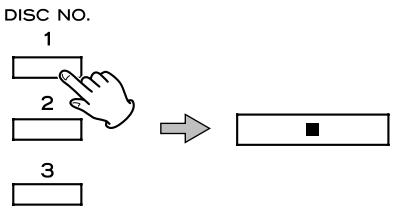
1 CDをセットする。



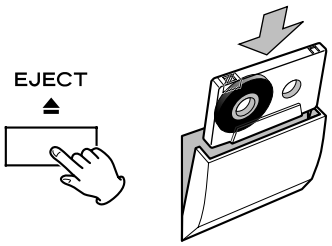
CDシンクロ録音の際もプログラム、シャッフル、シングル、リピートなどの機能が使えます。
特に設定をしなければ選択されているディスクの一曲目から録音します。

2 録音するディスクを選択する。

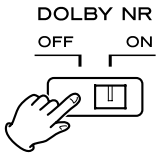
録音するディスクのDISC NO.ボタンを押してディスクを選択してから、停止ボタンを押して再生を停止してください。



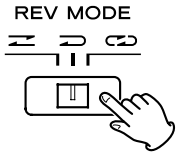
3 カセットをセットする。



4 ドルビーNRのオン/オフを選ぶ。

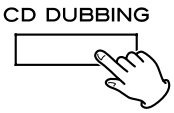


5 リバースモードを選ぶ。



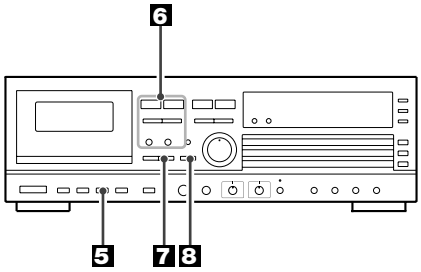
⇄ ：A面だけの片面録音
⇉/⇆ ：A面とB面の両面録音

6 停止状態でCD DUBBINGボタンを押す。



自動的にA面の頭までテープを巻き戻し、テープカウンターを"0000"にリセットします。CDは最初の曲の頭で一時停止して待機します。
カセットが(リーダーテープ部分を避けるために)約8秒の無信号録音を行なった後、CDの再生が始まり、録音を開始します。

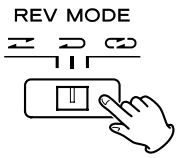
● CDシンクロ録音中は"DUB"と"REC"が点灯します。



テープの途中から録音するには

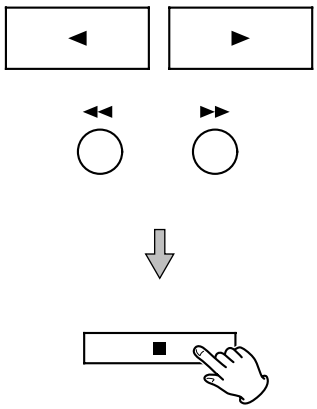
前ページの1～4のあと、以下の手順で操作してください。

5 リバースモードを選ぶ。



⇄：A面またはB面の片面録音
⇄/⇆：A面とB面の両面録音

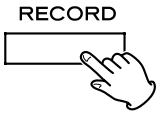
6 録音したい位置までテープを送って停止する。



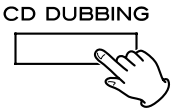
再生ボタン(◄または►)を使って、録音したい方向のテープ走行方向インジケーターを点灯させておいてください。

7 RECORDボタンを押す。

録音待機状態になります。



8 CD DUBBINGボタンを押す。



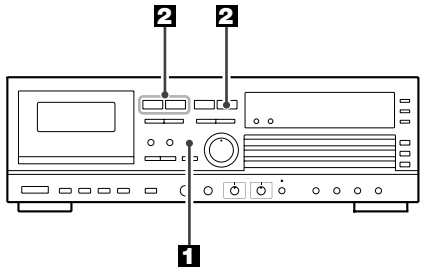
その位置からシンクロ録音が始まります。

- テープカウンターは0000にリセットされません。
- 8秒間の無信号録音を行わずに、すぐに録音を始めます。

CDシンクロ録音について

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- ソースは自動的にCDになります。SOURCE切り換えスイッチは使用しません。
- 複数のディスクをプログラムして録音する場合、ディスクを交換している間は自動的に録音待機状態になります。
- A面が終わると、B面の頭で約8秒の無信号録音を行なったあと、CDの再生が始まります。
- 曲の途中でA面が終わった場合は、B面の頭で約8秒の無信号録音を行なったあと、その曲の頭からB面に録音します。
- シンクロ録音を中断するときは、テープまたはCDの停止ボタン(■)を押してください。
- CDシンクロ録音中は、CDとテープの停止ボタン(■)以外は機能しません。
- イントロチェックモードではCDシンクロ録音はできません。
- CDの再生が終わると、録音も停止します。

CDとテープの連続再生

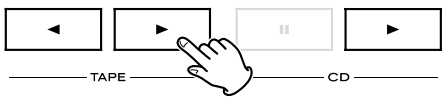


1 停止中にCD-TAPE CONT PLAYボタンを押す。

連続再生モードになり、"TAPE"と"CD"が点滅します。

● もう一度CD-TAPE CONT PLAYボタンを押すと、連続再生モードは解除されます。

2 テープまたはCDの再生ボタン(►)を押す。



連続再生が始まります。片方の再生が終わると、もう片方の再生が始まります。

両方の再生が終わると停止しますが、連続再生モードは解除されません。どちらかの再生を始めると、再び連続再生を始めます。

● 連続再生モードを解除するには、もう一度CD-TAPE CONT PLAYボタンを押してください。また、電源を切ると連続再生モードは解除されます。

● テープの再生中は"TAPE"が、CDの再生中は"CD"が点滅します。

● 待機中(停止中)は、CDまたはテープを入れ換えることができます。

● どちらかを再生しているときは、テープの早送り/巻戻しはできません。

● 停止ボタン(■)を押して再生を中断しても、連続再生モードは解除されません。

● 連続再生モードでは以下の機能は使用できません。

リピート再生
A-Bリピート再生
プログラム再生
シャッフル再生
イントロチェック
CDの早送り/早戻し(サーチ)
録音およびシンクロ録音

CDを先に再生する場合：

● 再生ボタン(►)を押すと、選択されているディスクからDISC3まで再生します。
"no disc"が表示されている場合は、再生したいディスクのDISC NO.ボタンを押して再生を始めてください。DISC3の再生が終わると、テープの再生が始まります。

テープを先に再生する場合：

● リバースモードが🔁になっていると、テープだけがくり返し再生されます。テープに続けてCDを再生するためには、リバースモードを➡または➡にしておいてください。
● テープの再生が終わると、CDのDISC1からDISC3まで再生して停止します。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

■全般

電源が入らない
➔ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。
➔ アンプとの接続を確認してください。
➔ アンプの操作を確認してください。

リモコンで操作できない。
➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

■CD

ディスクを入れても再生できない。
➔ "no disc"が表示されている場合は、ディスクが入っているトレーのDISC NO.ボタンを押すと再生が始まります。既にディスクが選択されているときは、再生ボタン(►)を押してください。(11,12ページ)
➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

一曲しか再生できない。
➔ 一曲リピートモードを解除してください。

プログラム再生できない。
➔ ディスクトレーを開閉すると、プログラムは消去されます。誤ってプログラムを消去してしまった場合は、もう一度プログラムし直してください。

音飛びがする。
➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

再生速度がおかしい。
➔ ピッチコントロールを確認してください。

■カセット

操作ボタンを押しても動作しない。
➔ カセットが入っていない場合はカセットを入れてください。
➔ カセットを正しく挿入してください。

カセットホルダーが閉まらない。
➔ カセットを正しく挿入してから閉めてください。

音が出ない。音質が悪い。
➔ アンプとの接続を確認してください。
➔ アンプの操作を確認してください。
➔ ヘッドを清掃してください。
➔ ヘッドが帯磁している場合は、ヘッド･イレーサーで消磁してください。
➔ ドルビーB NRで録音したテープを再生するときは、DOLBY NRスイッチをONにしてください。

再生速度がおかしい。
➔ ピッチコントロールを確認してください。

ブーンというノイズが出る。
➔ ノイズ発生源(アンプなど)から遠ざけてください。
➔ 電源プラグを差し換えて極性を変えてください。

録音できない。音質が悪い。
➔ カセットの録音防止用のつめが折れている場合は、セロハンテープなどを貼って孔をふさいでください。
➔ ヘッドを清掃してください。
➔ SOURCEスイッチを確認してください。
本機のCDから録音する場合はCDに、外部機器からの入力信号を録音する場合はLINEにしてください。
➔ 録音にはノーマルテープ(タイプ¿)またはクロームテープ(タイプ　)を使用してください。
➔ 録音レベルを調節してください。(24ページ)

リバースできない。
➔ REV MODEスイッチを⮌か⮌にしてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

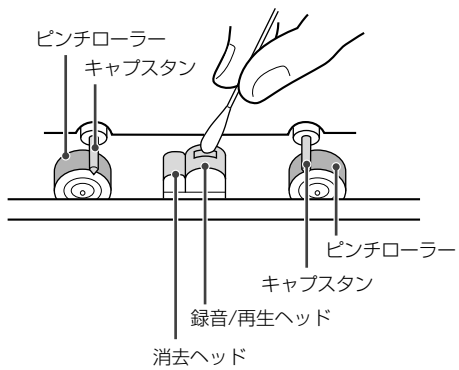
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

ヘッドの清掃と消磁

ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

また、ヘッド部が磁気を帯びると、雑音が増えたり高音が出にくくなります。このような症状が出たときは、市販のヘッドイレーサーで消磁してください。



仕　様

CDプレーヤー部

オーディオチャンネル数 2チャンネル
周波数特性 . . . . . .10～20,000Hz ±1dB
SN比 90dB
高調波歪率 0.02% (1kHz)
ワウ・フラッター . . . . . .測定限界値以下（水晶発振精度）
チャンネルセパレーション 70dB
ピッチコントロール . . . . . .約±12%
出力(RCA) 2V
デジタルフィルター . . . . . .
8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター

カセット部

トラック方式 . . . . . .4トラック2チャンネル ステレオ
ヘッド構成 . . . .録音／再生ヘッド x 1（回転リバース式）
消去ヘッドx 1
テープ速度 4,76cm/sec
ピッチコントロール . . . . . .約±12%
モーター . . . . . .DCサーボモーター x 1
ワウ・フラッター . . . . . .0.08% (W.RMS)
周波数特性（総合）. .63～15,000Hz ±3dB：クローム
63～14,000Hz ±3dB：ノーマル
SN比（総合）. . . . . .
57dB（ドルビーNRオフ, 3%THDレベルWTD）
66dB (ドルビーB NRオン, 5kHz以上）
早巻時間 . . . . . .約120秒（C-60テープ）
ライン入力(RCA) .300mV（入力インピーダンス50kΩ）
ライン出力(RCA) .300mV（負荷インピーダンス50kΩ）
ヘッドホン出力 5mW/33Ω

一般

電源 . . . . . .100V AC 50-60Hz
消費電力 18W
外形寸法 . . . . . .435x 147 x 293mm (WxHxD)
質量 5.5kg
付属品 . . . . . .リモコン　RC-778 x 1個
オーディオケーブル x 2本
乾電池（単3、SUM-3) x 2本
取扱説明書
保証書

**仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

29ページの「おや？故障かな？」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー/カセットデッキ AD-600
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として愉しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

ティアック エソテリック カンパニー
〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550　東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.teac.co.jp/av/
0903-MA-0411D D